

平成29年度(2017年度)

管理事業名	資源リサイクル事業			総合計画の 体系	第5章 第3節	環境を守り育てるまちづくり 循環を基調するまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 2	清掃費	(目) 1	清掃総務費	
部局名	環境部	予算執行所属		環境政策室				
予算大事業名	資源リサイクル推進事業 ・ごみ減量・再資源化促進事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)衛生費(項)清掃費(目)資源リサイクルセンター費 資源リサイクルセンター事業					
<b>事業の目的と概要</b> 資源リサイクル事業は、市民・事業者のごみ問題に関する意識の向上を図り、ごみの減量・再資源化を推進するための事業です。 主な事業は次のとおりです。 ・再生資源集団回収報償金支給事業・・・自治会や子供会等の再生資源集団回収に対する報償金支給事業です。 ・ごみ減量・再資源化啓発事業・・・市民や事業者に対しごみの発生抑制や再資源化を啓発する事業です。 ・廃棄物減量等推進員事業・・・ごみの減量や資源化などを推進する人材を育成し、地域での分別収集の指導・啓発などの自主的活動を推進する事業です。 ・資源リサイクルセンター事業・・・資源リサイクルセンターの運営及び市民工房や教室・講座の開催等、センターの管理運営事業です。								

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
再生資源集団回収量	t	9,360	8,877	8,357	再生資源集団回収実施団体が回収した総量
市民1人当たりの家庭系ごみ 排出量(1日)	g	589	577	579	市が収集運搬し、処理する市民1人当たりの家庭系ごみ排出量(1日)
資源リサイクルセンターへの 視察及び工房見学者数	人	11,249	11,551	12,202	資源リサイクルセンターへの視察及び工房見学者数
成果の説明	・再生資源集団回収量は、新聞や雑誌などが電子媒体化され普及することにより減少していますが、再生資源集団回収は、本市における資源リサイクルに大きく寄与しています。 ・ごみ減量・再資源化啓発事業は、エコイベント宣言の奨励、レジ袋削減・マイバック推進キャンペーン等の実施や北摂地域でのレジ袋無料配布中止に向けた取組、食品ロス削減のためフードドライブ及び講座を実施することにより、市民のごみ減量意識の向上に寄与しています。 ・廃棄物減量等推進員は、地域でのイベントごみの分別や集団回収の支援により、ごみの減量・資源化及び市民のごみ減量意識の向上に寄与しています。 ・資源リサイクルセンター事業は、資源リサイクルセンターにおけるリサイクル工房事業、施設見学等により、市民のごみ減量意識の向上に寄与しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	264	347	275	△73
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	568	440	1,875	1,436
経常収入 小計(a)	832	787	2,150	1,363
給与関係費	34,298	38,038	33,704	△4,335
物件費	50,352	50,953	50,874	△79
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	65,543	62,179	58,553	△3,626
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	47,207	47,207	47,207	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,764	3,090	2,820	△270
退職手当引当金繰入額	△20,194	5,688	△638	△6,326
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	179,969	207,155	192,518	△14,637
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△179,138	△206,368	△190,368	16,000
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	0	-	△0
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	0	-	△0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	△0	-	0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△179,138	△206,368	△190,368	16,000
一般財源充当額	157,335	156,361	147,101	△9,260
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△21,803	△50,007	△43,267	6,740

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 その他	資源リサイクルセンター使用料 用地占有料 333千円 平成28年度資源リサイクルセンター指定管理委託業務に係る過年度返還金 1,441千円
経常費用 物件費	資源リサイクルセンター指定管理委託料 50,063千円
経常費用 負担金・補助金・交付金等	再生資源集団回収報償金 58,502千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	832	787	2,150	1,363
行政サービス活動支出	158,166	157,148	149,251	△7,897
行政サービス活動収支差額	△157,335	△156,361	△147,101	9,260
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△157,335	△156,361	△147,101	9,260
一般財源充当額	157,335	164,811	147,101	△17,710
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	内容
	(行政サービス活動収入)資源リサイクルセンター自動販売機設置に係る用地占有料 333千円、平成28年度資源リサイクルセンター指定管理委託業務に係る過年度返還金 1,441千円(行政サービス活動支出)再生資源集団回収報償金 58,502千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成27年度	367,510 人	490 円	市民1人当たり520円のコストがかかっています。(平成30年3月31日現在の人口)主に職員人件費の減少により昨年度よりコストが減少しています。
	平成28年度	369,522 人	572 円	
	平成29年度	370,072 人	520 円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,090	2,820	△270
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	3,090	2,820	△270
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	636,101	588,982	△47,119	固定負債	34,187	30,518	△3,669
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	636,101	588,982	△47,119	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	34,187	30,518	△3,669
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	37,277	33,337	△3,940
土地	-	-	-	純資産	1,138,064	1,094,797	△43,267
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	440	352	△88	投資その他の資産	538,800	538,800	-
図書館資料	-	-	-	出資金	538,800	538,800	-
投資その他の資産	538,800	538,800	-	長期貸付金	-	-	-
出資金	538,800	538,800	-	基金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
基金	-	-	-	その他債権	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	資産の部合計	1,175,341	1,128,134	△47,207
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,175,341	1,128,134	△47,207

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

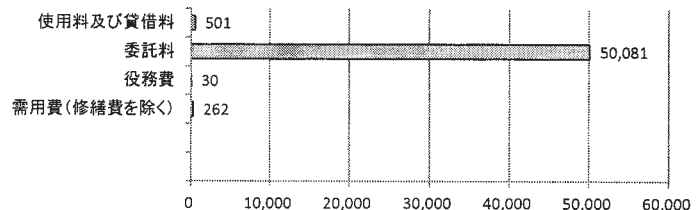
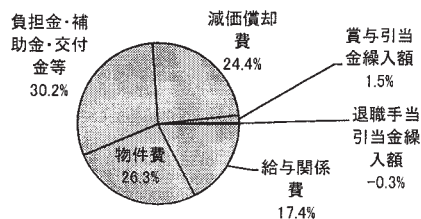
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均 4.5人	月平均 人	年間従事延日数 日	実人数 人	
給与関係費等	35,885千円	千円	千円	千円	35,885
内、時間外勤務手当	1,529千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	資源リサイクルセンター 588,982千円 (減価償却による減額 47,119千円)
出資金	(公財)千里リサイクルプラザ 538,800千円

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	資源リサイクルセンター
取得年月日	平成4年(1992年)9月
建物・工作物の取得価額	1,790,507 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,201,524 千円
利用料金収入	275 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	-	-	-	-
施設老朽化比率	61.8	64.5	67.1	2.6
受益者負担比率	0.1	0.2	0.1	△0.1
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	99.5	104.9	98.6	△6.3
経常費用対公共資産比率	10.1	11.6	10.8	△0.8

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

- ・経常費用の主なものにつきましては、給与関係費が33,704千円(17.4%)、物件費が50,874千円(26.3%)、負担金・補助金・交付金等が58,553千円(30.2%)、減価償却費が47,204千円(24.4%)となっています。
- ・負担金・補助金・交付金等が減額した主な理由は再生資源集団回収の回収量が減少したことによる報償費の減です。
- ・物件費の内訳は、委託料が98.4%を占めており、主な内容は資源リサイクルセンターの指定管理委託料50,063千円があります。
- ・資源リサイクルセンターの施設老朽化率は67.1%となっており、平成28年度と比較し2.6ポイントの増となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

- ・再生資源集団回収については、子供会の解散等により団体数が減少傾向にあります。子供会が再生資源集団回収登録廃止届を提出した際には、自治会等で引き続き取組んでもらえる様に指導する必要があります。
- ・吹田市一般廃棄物処理基本計画(後期改訂版)において、基本施策に食品ロス削減を記載しており、冷蔵庫の整理、エコクッキングなど市民にわかりやすい講習会を開催。今後も、市民周知していく必要があります。
- ・北摂7市3町と食品スーパー9社で「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」を締結しました。今後は、協定に参加していない事業者にも積極的に働きかけを行う必要があります。
- ・市民1人当たりのごみ排出量(1日)が微増しており、目標値788g(平成32年度)達成に向け、ごみ減量・再資源化啓発事業において、ごみの発生抑制や再資源化の啓発をさらに拡充する必要があります。
- ・資源リサイクルセンターはごみの減量、再資源化及び再生利用の啓発に加え、地球温暖化問題に取り組むなど、継続して市民の循環型社会及び低炭素社会についての理解と認識を深める啓発施設の役割を果たしていく必要があります。